

エシカルって何？

地球にも社会にもやさしい
見た目だけでなく、内側から美しい
トレーサブルなファッション

ファッションの現状2013

- * パリ、ミラノコレクションが変貌しつつある！
- * 主役はデザイナーから、消費者へ
 ブLOGGER、ネットエディターの台頭
- * ラグジュアリーブランドの改革期：
 伝統と革新、クラフツマンシップ回帰
- * ファストブランドの台頭：メインストリートへの進出
- * 価格競争からクオリティ競争へ
 本物を探す/ぬくもりのあるものを探す。
- * 社会貢献、文化貢献の両輪が未来を牽引する
- * 21世紀のファッション産業革命への期待。

“エシカル”は21世紀の精神

プロフィットエコノミー→ソーシャルエコノミー

WIN-WINの経済、社会体制

サステナビリティ = 継続の精神

足元にある精神、再生させるべく精神

一過性のトレンドではなく、より人間らしい

社会を形成するためのルネッサンス運動、

哲学的命題である。

エシカル・ファッションの歴史

- * エシカル = ethical/道徳的な、倫理的な、社会規範に照らして道義的に正しい
- * イギリス・ブレア政権で「エシカル」が主にアフリカ諸国の貧困対策の中でうたわれたことが始まり。
- * パリー—2004年よりエシカルファッションショウをパリコレのあとに定期開催。いまなお続く。
- * ロンドンーエシカルな展示会「エステティカ」をロンドンコレクションと併催。
- * ニューヨークー「フューチャーファッション」と題し、トップデザイナーがオーガニックコットンで服を作り、発表、バーニーズのウィンドウを飾る。
- * 日本ーデパートなど小売りの現場で発信開始。

エシカルのルーツは60~80年代

60~70年代のヒッピー文化、フラワーチルドレンなど「自然に帰る」という一連の運動、さらには80年代末に始まる、エコロジー、サステナブルな環境運動が源流としてある。

* エコ書籍：レイチェル・カーソン「沈黙の春」(1962年)

* エコ哲学：フェリックス・ガタリ 「3つのエコロジー」(1989年)

* サリー・フォックス(昆虫学者)：オーガニック・コットンの開拓者(1989年)

エシカル・ファッションとは？

地球にやさしい素材

* オーガニック・コットン / 自然染料 (汚染しない)

* 天然原料による天然素材 (土に帰る素材)

人にやさしいアクション: 人道支援 / 社会貢献

* フェアトレード / SA8000, ISOなどの認証

サステナブルである

* リサイクル / リメイク / リユース / 物々交換

伝統世界を見直す

* 手作り / 伝統工芸 / クラフツマンシップ

最新の動き

* 三宅一生「132 5.」 = 再生ポリエステル

* ルイ・ヴィトン エシカルブランド「EDUN」買収

オーガニック・テキスタイルの 国際基準「GOTS」

- * 製造のプロセスで、環境に負荷をかけない。
- * 児童労働をさせない。
- * 労働基準を守る。



環境保護

+

社会貢献

= GOTS認証基準とする
他に、JOCA, TEがある。



エシカル産業革命の時代へ

* 第3次産業革命の時代へ。

クリス・アンダーソン著「MAKERS」にあるように、
「個人のものづくり」が産業構造を変える時代へ。

3Dプリンター / レーザーカッター

* メディアは「エシカル」の情報を積極的に流す。

* 小中高大で、エシカル、フェアトレードについての
プログラムを立て、早くから啓蒙する。

* エシカルをクリエイティブに進化させる！

ファッション、芸術の教育機関でプログラム開設。

* 小売りの現場で「トレーサブル」なファッションに
ついての情報を開示し、消費者を啓蒙する。

= ショッピングで世界を変えよう！

Vol.5: エシカルの最新ニュース！

UNIQLO、デトックス・キャンペーンに参加

2013/1/19 ユニクロは、2020年までに、有害科学物質を全廃することをグリーンピースと合意。

日本企業で初、情報開示でグローバルリーダーを目指す。

EU 化粧品動物実験全面禁止へ！

2013年3月11日より、EU域内では、化粧品の動物実験が全面禁止となり、動物実験された原料を使った化粧品の取り引きも禁止となる。